

# 松井証券株式会社

(東京証券取引所第1部 :8628)

2003年3月期 (平成15年3月期)  
中間期決算報告資料

2002年10月24日

 松井証券

# 目次

---

セクション1	決算(連結)の概要	2
セクション2	リテール証券業界の状況	15
セクション3	今後の展開	25
セクション4	各種データ	35

本資料は、2003年3月期中間期決算の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、本資料は2002年10月24日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

# 決算(連結)の概要

---

## セクション 1

# 2003年3月期 (2002年度) 中間期決算の概要

---

Part 1

# 2003年3月期中間期の業績

## 営業収益は70億円で15%増加 (前年同期比)

～ 営業利益は16億円 (33%減)、経常利益は16億円 (19%減)、当期利益は6億円 (36%減)～

(単位:百万円)

	2002年3月期 中間(4～9月)	2003年3月期 中間(4～9月)	前年同期比 (増減率)
営業収益	6,094	6,977	15%
受入手数料	4,875	5,365	10%
金融収益	1,201	1,620	35%
金融費用	603	574	-5%
純営業収益	5,490	6,404	17%
販管費	3,028	4,748	57%
営業利益	2,463	1,656	-33%
経常利益	2,024	1,648	-19%
当期利益	912	588	-36%

(注) 2003年3月期第1四半期に、新システムの導入に伴うソフトウェアの早期償却により「減価償却費」を1,022百万円追加計上。同費用控除後の利益は以下の通り。  
営業利益2,678百万円(+9%)、経常利益2,670百万円(+32%) ( )は前年同期比

# 純営業収益の内訳

## 受入手数料は53億円で10%増加 (前年同期比)

～ 信用取引貸付金の増加により 金融収支は10億円で75%増加～

(単位 :百万円)

	2002年3月期 中間 (4～9月)	2003年3月期 中間 (4～9月)	前年同期比 (増減率)
受入手数料	4,875	5,365	10%
委託手数料	4,584	5,005	9%
引受・売出手数料	0	12	-
募集・売上の取扱手数料	146	14	-90%
その他	145	334	131%
金融収益 ( )	1,201	1,620	35%
トレーディング損益	18	8	-145%
営業収益合計	6,094	6,977	15%
金融費用 ( )	603	574	-5%
純営業収益	5,490	6,404	17%
金融収支 ( - )	598	1,047	75%

# 販管費の内訳

販管費は47億円で57%増加 (前年同期比)

～新システムの移行に伴い、減価償却費・事務費が増加～

(単位:百万円)

	2002年3月期 中間(4～9月)	2003年3月期 中間(4～9月)	前年同期比 (増減率)
取引関係費	972	838	-14%
広告宣伝費	342	145	-58%
人件費	910	906	-0%
不動産関係費	396	454	14%
事務費	356	1,214	241%
減価償却費	322	1,264	292%
租税公課	22	17	-24%
その他	48	56	15%
販管費合計	3,028	4,748	57%

(注) 早期減価償却費(1,022百万円)を控除した販管費は以下の通り。( )は前年同期比  
減価償却費242百万円(-25%)、販管費合計3,726百万円(+23%)

# 直近4四半期の決算概要

---

Part 2



# 直近4四半期の業績推移

## 営業収益は34億円で直前四半期と同水準

～ 営業利益は13億円、経常利益は13億円、当期利益は6億円～

(単位 :百万円)

	2002年3月期 3Q (10～12月)	2002年3月期 4Q (1～3月)	2003年3月期 1Q (4～6月)	2003年3月期 2Q (7～9月)	直前四半期比 (増減率)
営業収益	3,186	3,505	3,493	3,485	-0%
受入手数料	2,606	2,734	2,777	2,588	-7%
金融収益	575	773	716	905	26%
金融費用	312	435	245	329	34%
純営業収益	2,874	3,070	3,248	3,156	-3%
販管費	1,612	2,428	2,921	1,827	-37%
営業利益	1,263	643	328	1,328	305%
経常利益	1,262	653	316	1,331	321%
当期利益 ( 損失 )	617	341	18	605	-

# 純営業収益の内訳

## 受入手数料は25億円で7%減少（直前四半期比）

～ 信用取引貸付金の増加により 金融収支は5.7億円で22%増加～

(単位 :百万円)

	2002年3月期 3Q (10～12月)	2002年3月期 4Q (1～3月)	2003年3月期 1Q (4～6月)	2003年3月期 2Q (7～9月)	直前四半期比 (増減率)
受入手数料	2,606	2,734	2,777	2,588	-7%
委託手数料	2,432	2,528	2,617	2,388	-9%
引受・売出手数料	-	-	3	9	234%
募集・売出取扱手数料	1	11	13	1	-90%
その他	174	195	145	190	31%
金融収益 ( )	575	773	716	905	26%
トレーディング損益	5	2	0	8	-
営業収益合計	3,186	3,505	3,493	3,485	0%
金融費用 ( )	312	435	245	329	34%
純営業収益	2,874	3,070	3,248	3,156	-3%
金融収支 ( - )	263	338	471	576	22%

# 販管費の内訳

販管費は18億円で、早期償却を控除した直前四半期値 (19億円)より減少

～事務費以外の販管費は、直前四半期より減少～

(単位 :百万円)

	2002年3月期 3Q (10～12月)	2002年3月期 4Q (1～3月)	2003年3月期 1Q (4～6月)	2003年3月期 2Q (7～9月)	直前四半期比 (増減率)
取引関係費	447	439	429	409	-5%
広告宣伝費	111	64	66	79	19%
人件費	496	468	480	427	-11%
不動産関係費	190	213	285	169	-41%
事務費	310	297	555	659	19%
減価償却費	135	979	1,123	141	-87%
租税公課	3	4	10	7	-33%
その他	31	27	39	16	-58%
販管費合計	1,612	2,428	2,921	1,827	-37%

## 【参考】早期償却控除後の業績推移

### 01年度4Qと02年度1Qに計上した早期償却を控除した業績推移

(単位 :百万円)

	2002年3月期 3Q (10~12月)	2002年3月期 4Q (1~3月)	2003年3月期 1Q (4~6月)	2003年3月期 2Q (7~9月)	直前四半期比 (増減率)
営業収益	3,186	3,505	3,493	3,485	0%
受入手数料	2,606	2,734	2,777	2,588	-7%
金融収支	263	338	471	576	22%
純営業収益	2,874	3,070	3,248	3,156	-3%
販管費	1,612	1,617	1,899	1,827	-4%
(うち減価償却費)	135	168	101	141	40%
営業利益	1,263	1,453	1,350	1,328	-2%
経常利益	1,262	1,464	1,338	1,331	-1%
早期償却額	-	811	1,022	-	-

(注)早期償却控除により影響を受ける箇所を網掛けにしている

# マーケットの状況

---

Part 3

# 個人株式委託売買代金の状況

## 個人投資家の流動性は株式市場全売買代金の15% (02年度上期)

～個人株式委託売買代金は8%増加、松井証券株式委託売買代金は11%増加 (前年同期比)～

### 株式委託売買代金の比較 (前年同期比)】

(単位 :兆円)

	1 個人株式委託 売買代金シェア	個人株式委託売買代金 <sup>2</sup>		松井証券株式委託売買代金	
		金額	増減率	金額	増減率
2002年3月期上期 (2001年度)	13%	26.2	8%	2.7	11%
2003年3月期上期 (2002年度)	15%	28.3		3.0	

出典: 東証統計資料、JASDAQ統計資料

注1: 三市場およびJASDAQの総売買代金に占める個人株式委託売買代金の比率

注2: 三市場およびJASDAQの合計額

# 信用取引残高の状況

三市場の平均信用取引残高は、買い残1.4兆円、売り残0.9兆円 (02年度上期)

～三市場の平均買い残が11%減少するなか、松井証券の平均買い残は53%増加(前年同期比)～

## 【信用取引残高の比較(前年同期比)】

【買い残高】	松井証券シェア	三市場買い残高 <sup>1</sup> (兆円)		松井証券買い残高 <sup>2</sup> (億円)	
		金額	増減率	金額	増減率
2002年3月期上期 (2001年度)	4.1%	1.6	-11%	662	53%
2003年3月期上期 (2002年度)	7.0%	1.4		1,013	

【売り残高】	松井証券シェア	三市場売り残高 <sup>1</sup> (兆円)		松井証券売り残高 <sup>2</sup> (億円)	
		金額	増減率	金額	増減率
2002年3月期上期 (2001年度)	1.9%	0.9	5%	168	27%
2003年3月期上期 (2002年度)	2.3%	0.9		213	

# リテール証券業界の状況

---

## セクション 2



# リテール株式委託取引

---

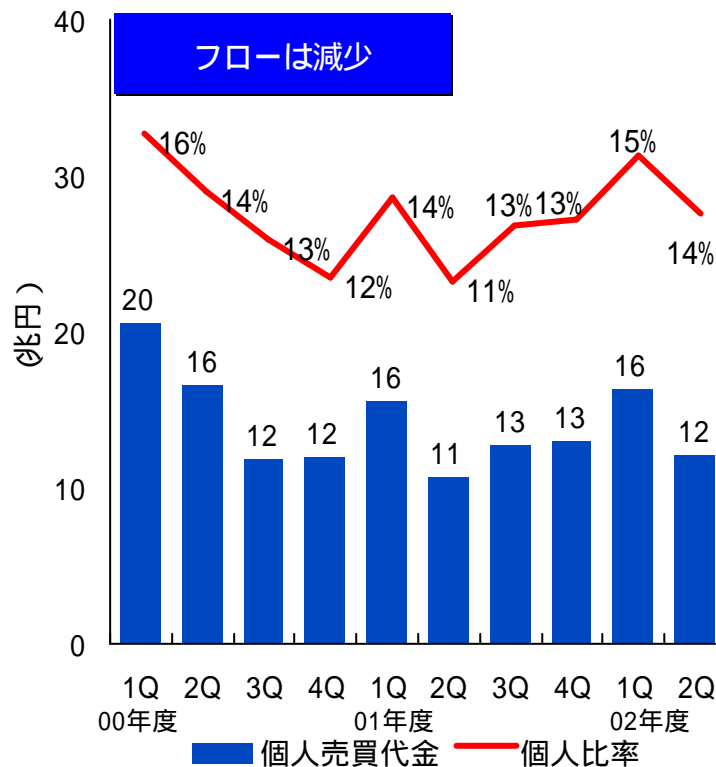
Part 1

# リテール株式取引市場の状況

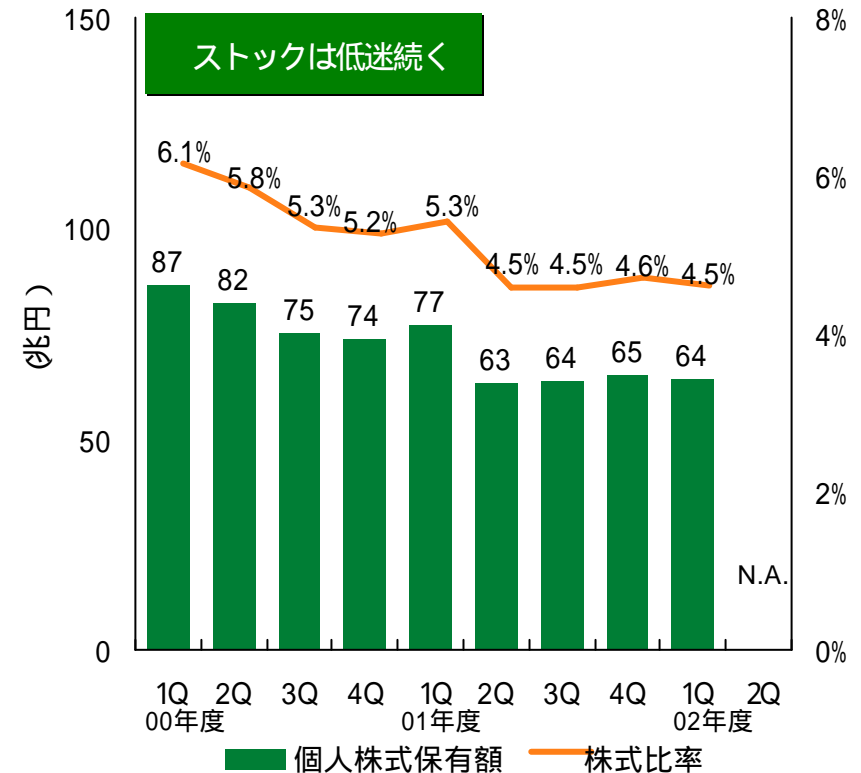
## 個人株式委託売買代金は12兆円で直前四半期比26%減少 (02年度2Q)

～ 個人株式保有額は約60兆円 (個人金融資産の約4%) で推移～

個人株式委託売買代金<sup>1</sup> (フロー)  
総売買代金に占める個人取引比率



個人株式保有額 (ストック)  
個人金融資産に占める株式比率



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料、日本銀行「資金循環統計」

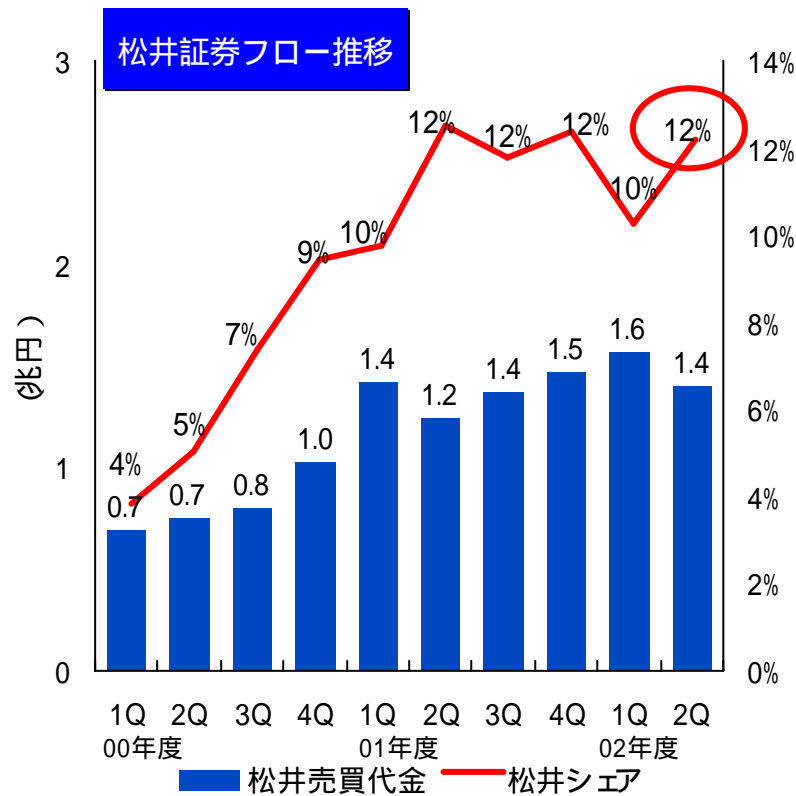
注1：三市場 (資本の額30億円以上の総合取引参加者) およびJASDAQ市場 (総合証券会社等44社) の合計値

# 松井証券の実績 (対マーケットとの比較)

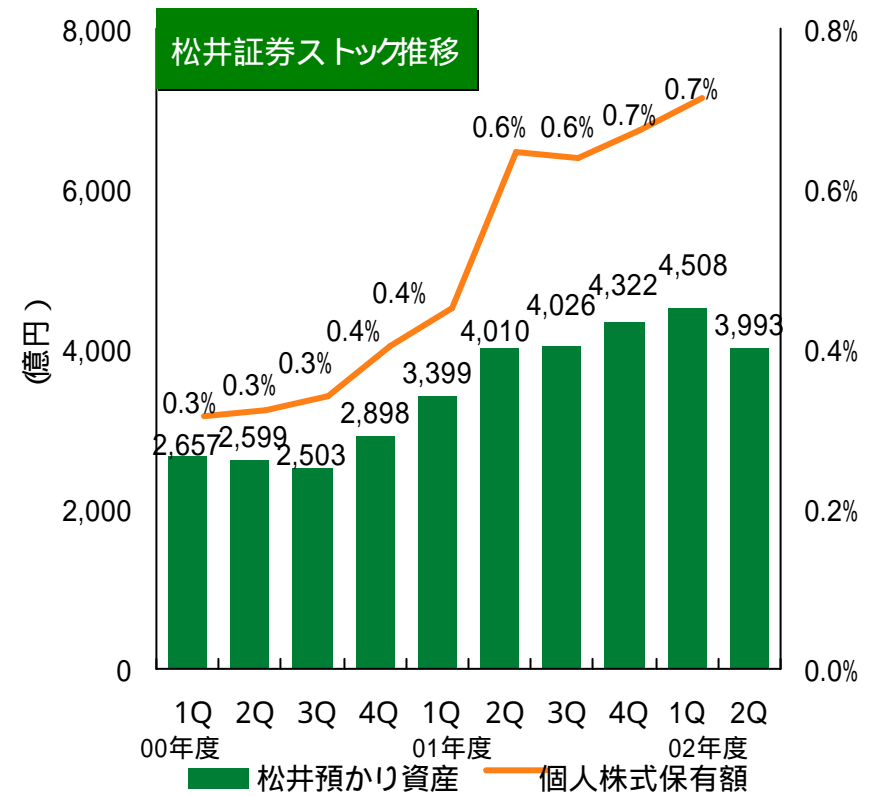
## 個人株式委託売買代金に占める松井証券シェアは12% (02年度2Q)

～ 松井証券預かり資産額は3,993億円 (02年9月末) 日本個人株式保有額の約0.7%相当で推移～

松井証券株式委託売買代金 (フロー)  
個人株式委託売買代金<sup>1</sup>に占める松井証券シェア



松井証券預かり資産額 (ストック)  
個人株式保有額に占める松井証券シェア

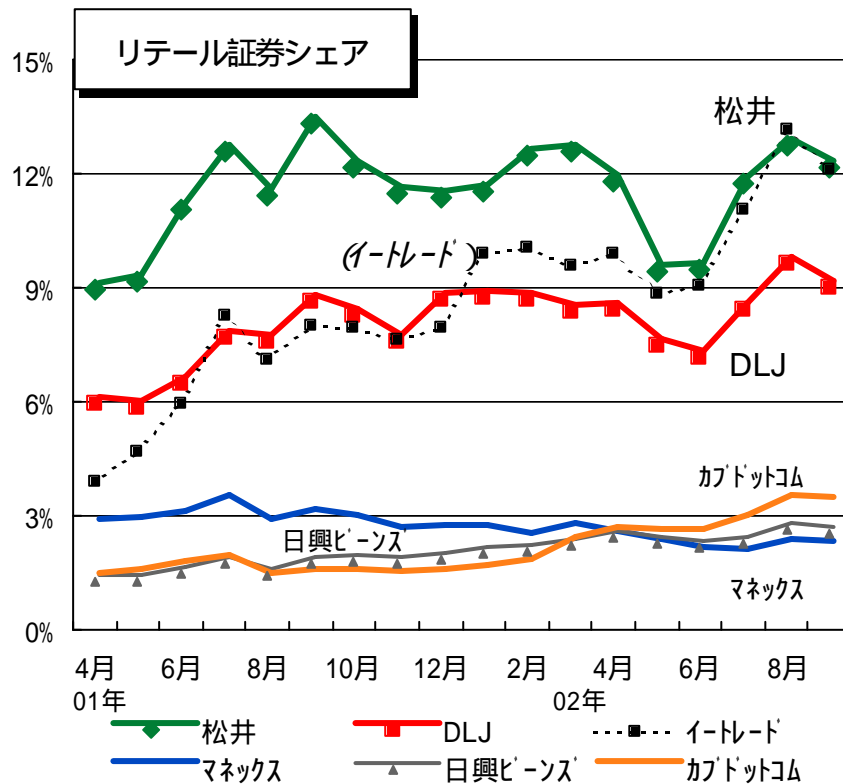


# リテール株式売買代金シェア (対オンライン証券との比較)

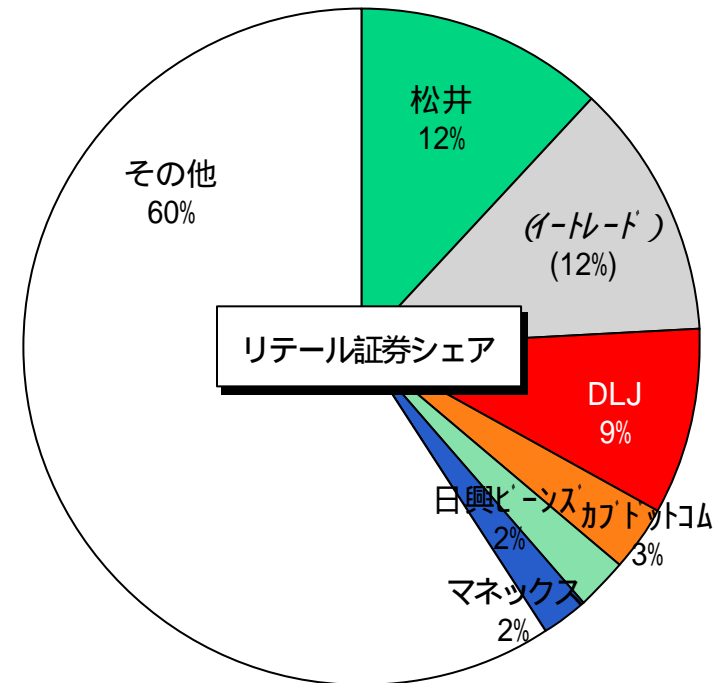
## 松井証券のリテール株式売買代金シェアはオンライン証券トップ (02年度2Q)

～主要オンライン証券3社のリテール株式売買代金シェアは約33%～

### 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェアの推移



### 個人株式委託売買代金<sup>1</sup>シェア (02年度2Q)



(注) イートレードはリテール以外の売買代金を含む参考値<sup>2</sup>  
(上記は「リテール証券シェア」のため)

出典：東証統計資料、日本証券業協会、各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページより算出

注1：三市場の合計値

注2：海外投資家等 (TIR東京顧客)からの注文を受ける体制も敷いているため、リテール以外の売買代金が含まれる可能性がある (前期決算説明会資料より) また指数表示から算定した推定値でもある

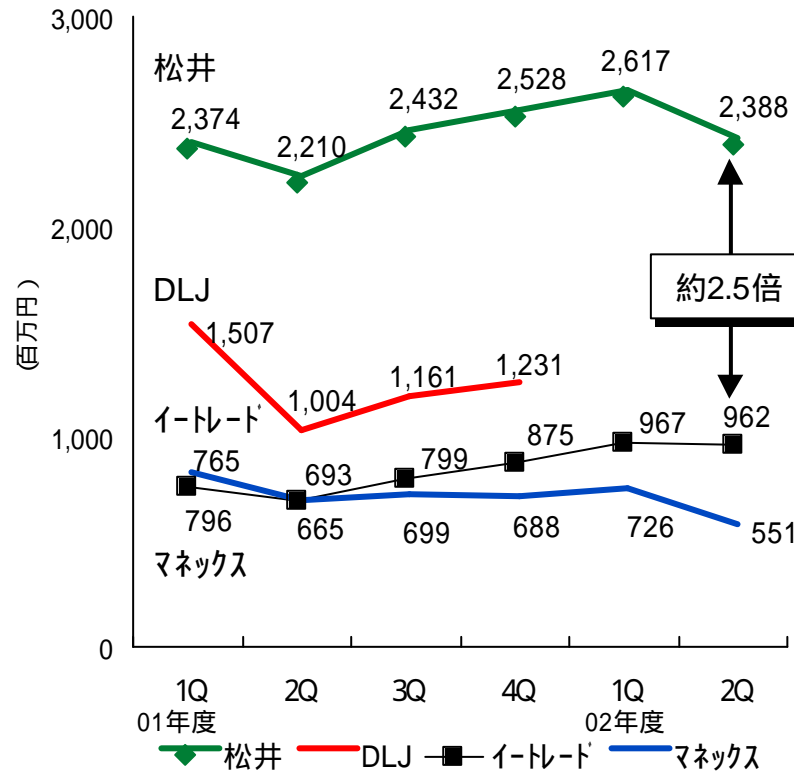
# 【参考】委託手数料とコストカバー率 (オンライン証券比較)

## 松井証券は委託手数料で販管費の1.31倍をカバー (02年度2Q)

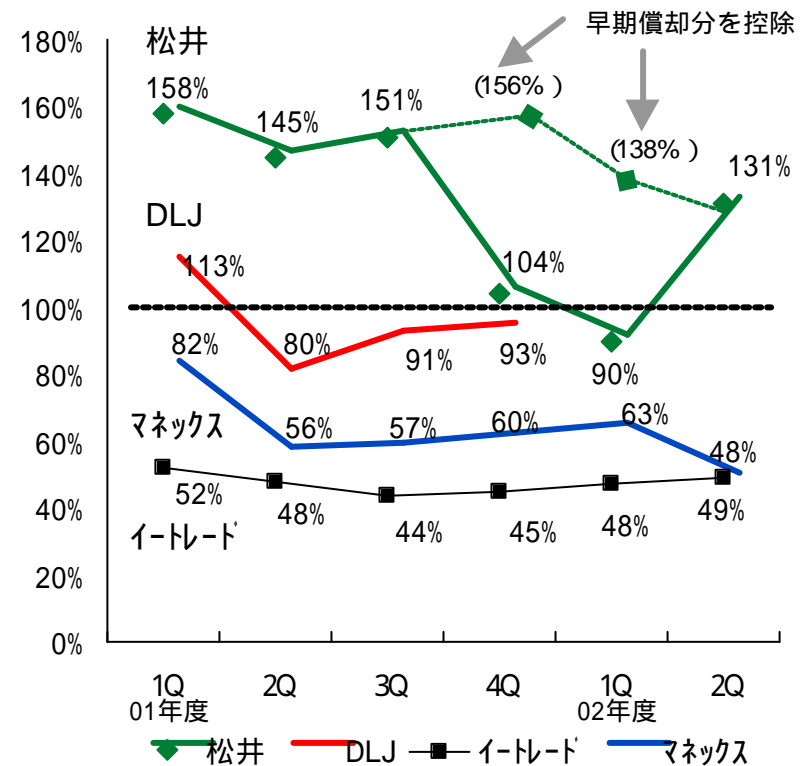
～イートレードは49%、マネックスは48%のコストカバー率～

一定の収益性を維持しつつ、健全な形でのシェア拡大を図る方針

委託手数料<sup>1</sup>の推移



委託手数料 / 販管費<sup>2</sup>の推移



出典：各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページより算出

注1：委託手数料には、株式以外の商品の委託手数料も含まれている

注2：販管費には、委託手数料以外の収益に要するコストも含まれている点に留意が必要

# リテール信用取引

---

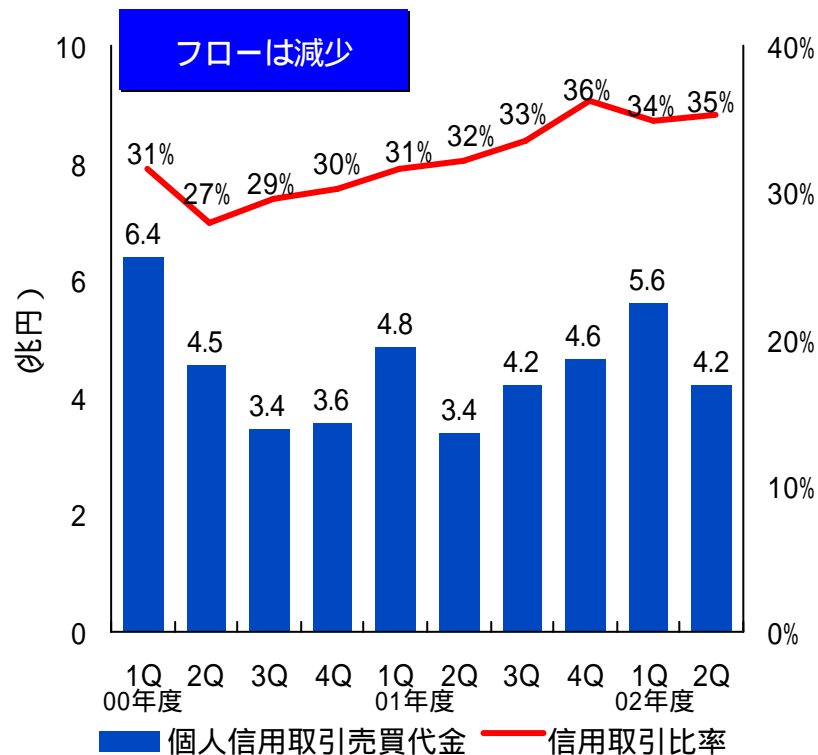
Part 2

# リテール信用取引市場の状況

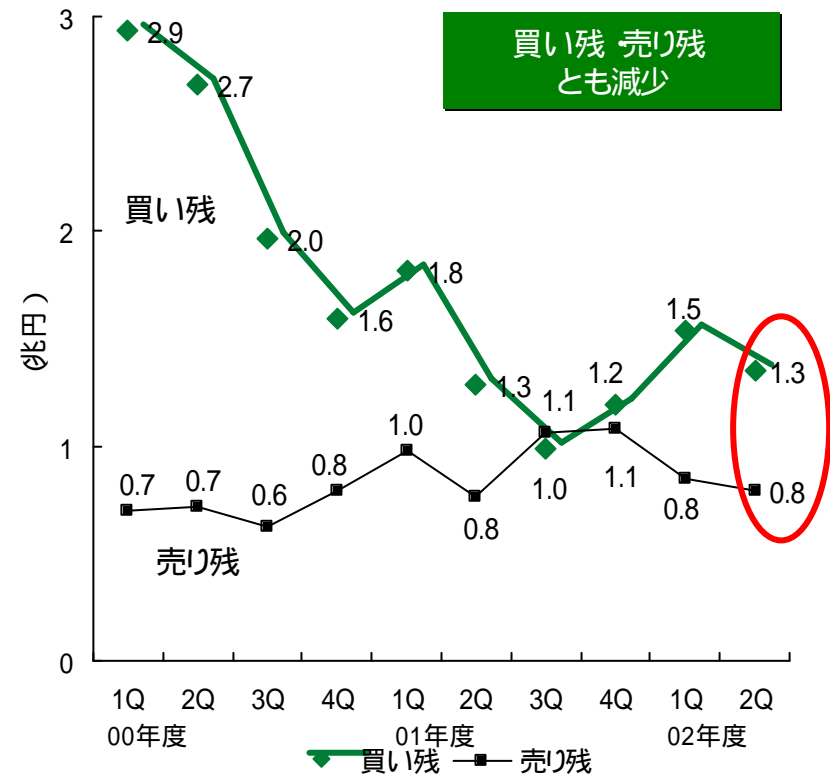
## 個人株式委託売買代金に占める信用取引比率は35% (02年度2Q)

~ 信用取引残高は、買い残 (1.3兆円)、売り残 (0.8兆円)とも減少 (直前四半期末比)~

個人信用取引売買代金<sup>1</sup>  
個人株式委託売買代金に占める信用取引比率



信用取引残高<sup>2</sup> (買い残・売り残)



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料より算出

注1：三市場およびJASDAQ市場の合計値

注2：三市場の各四半期の最終公表残高

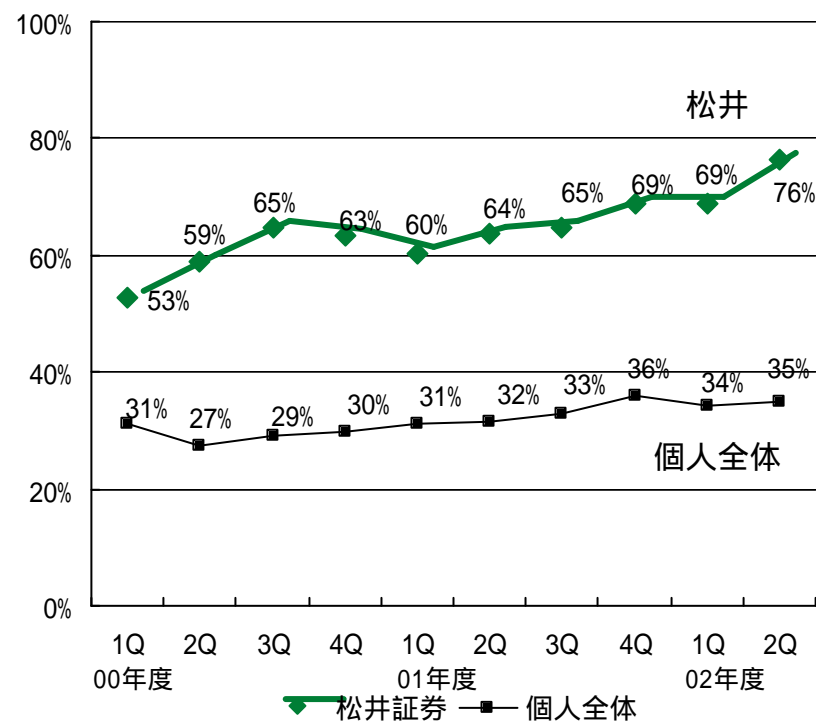
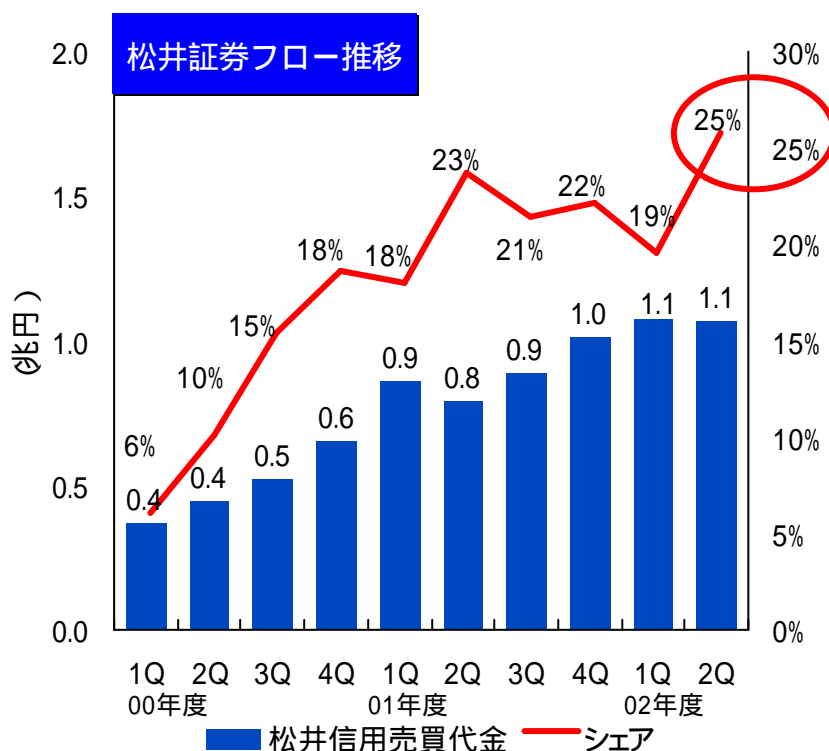
# 松井証券の実績 (信用取引売買代金の推移)

個人信用取引売買代金に占める松井証券シェアは25% (02年度2Q)で過去最高

～松井証券株式委託売買代金に占める信用取引比率は76% (02年度2Q)～

松井証券信用取引売買代金  
個人信用取引<sup>1</sup>に占める松井証券シェア

株式委託売買代金に占める信用取引比率



出典：東証統計資料、JASDAQ統計資料より算出

注1：三市場およびJASDAQ市場の合計値

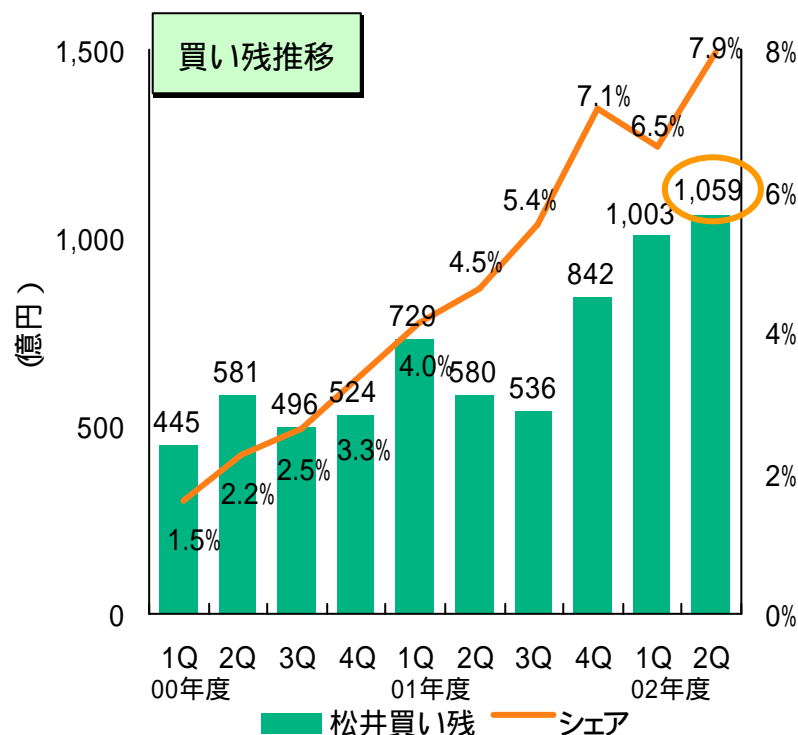


# 松井証券の実績 (信用取引残高の推移)

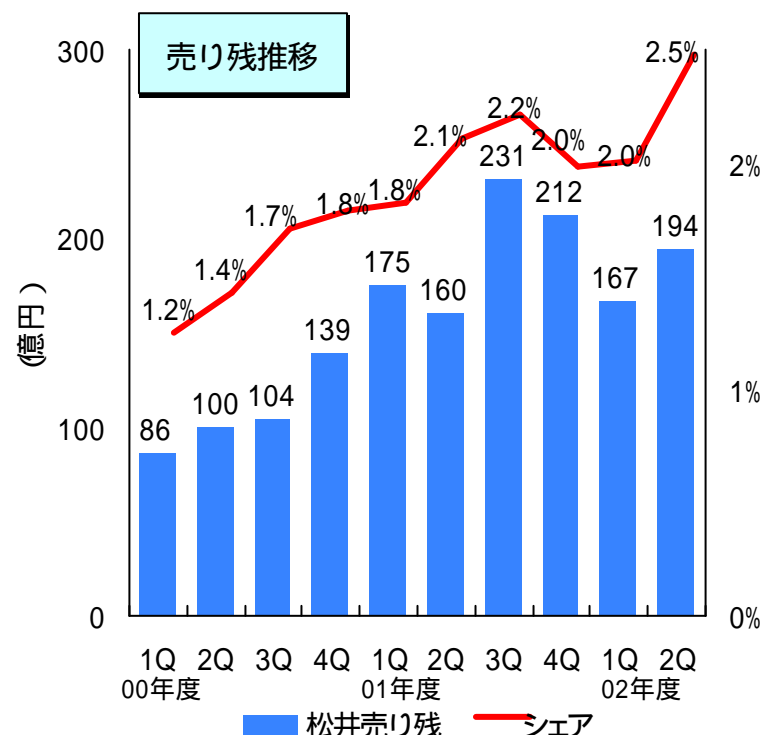
松井証券の信用取引買い残高は1,059億円 (02年9月末)で過去最高を記録

~ 松井証券の信用取引売り残高は194億円 (02年9月末) ~

松井証券買い残高<sup>1</sup>  
三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア



松井証券売り残高<sup>1</sup>  
三市場残高<sup>2</sup>に占める松井証券シェア



出典：東証統計資料

注1：四半期末の残高

注2：三市場の各四半期の最終公表残高

# 今後の展開

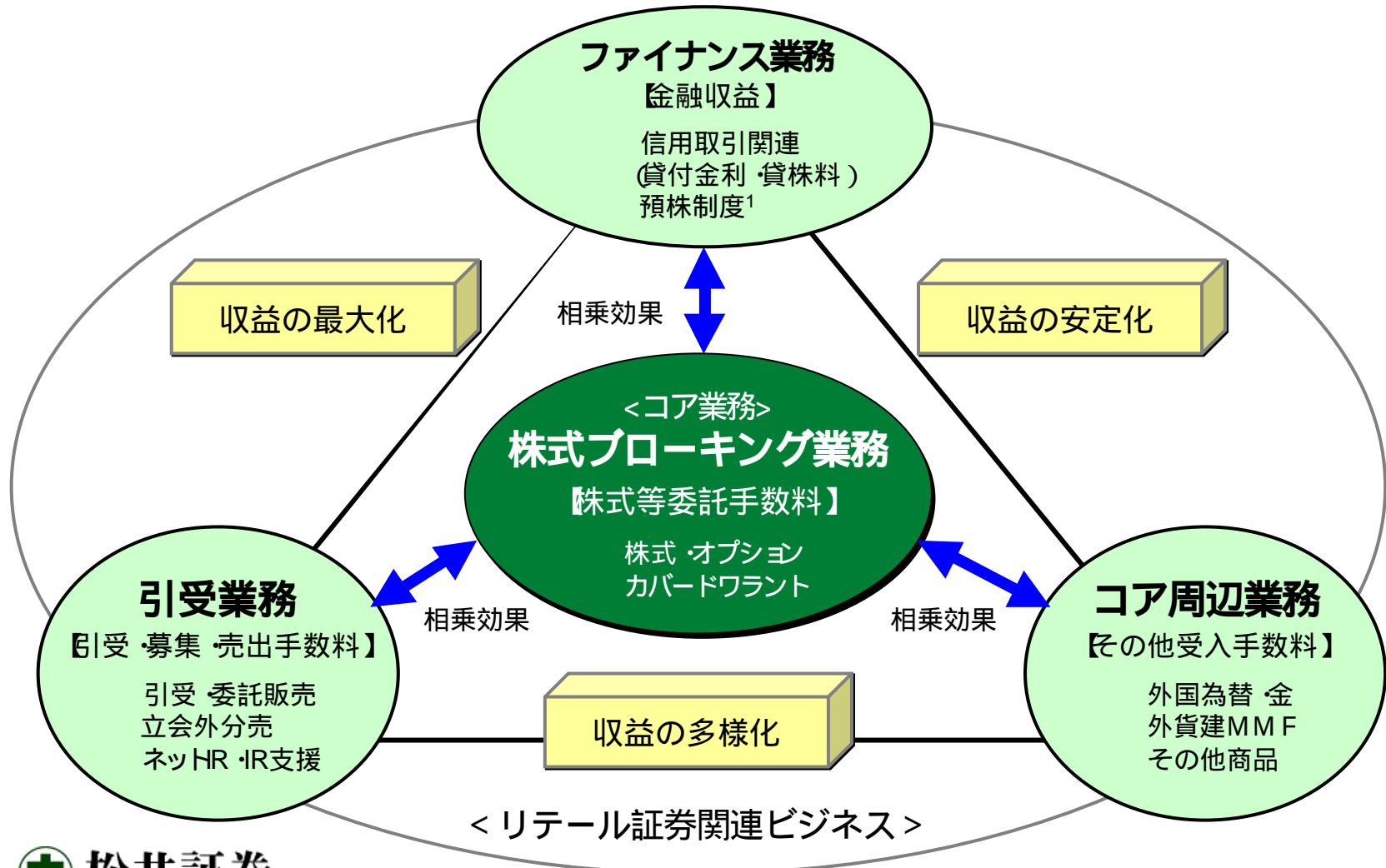
---

セクション 3

# リテール証券関連ビジネスの展開

株式ブローキング業務をコアとして収益の最大化 安定化 多様化を目指す

～ コア業務の「プラットフォーム」を活用し、コアとの相乗効果が見込める「コア関連業務」を積極展開～



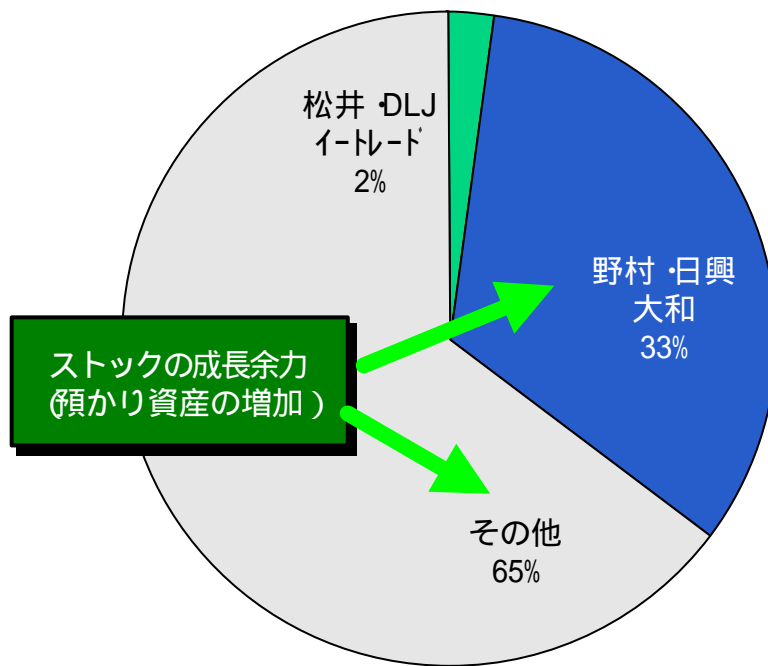
# コア業務の成長性

## 個人投資家の株券は、まだオンライン証券に移動していない (ストックの成長余力)

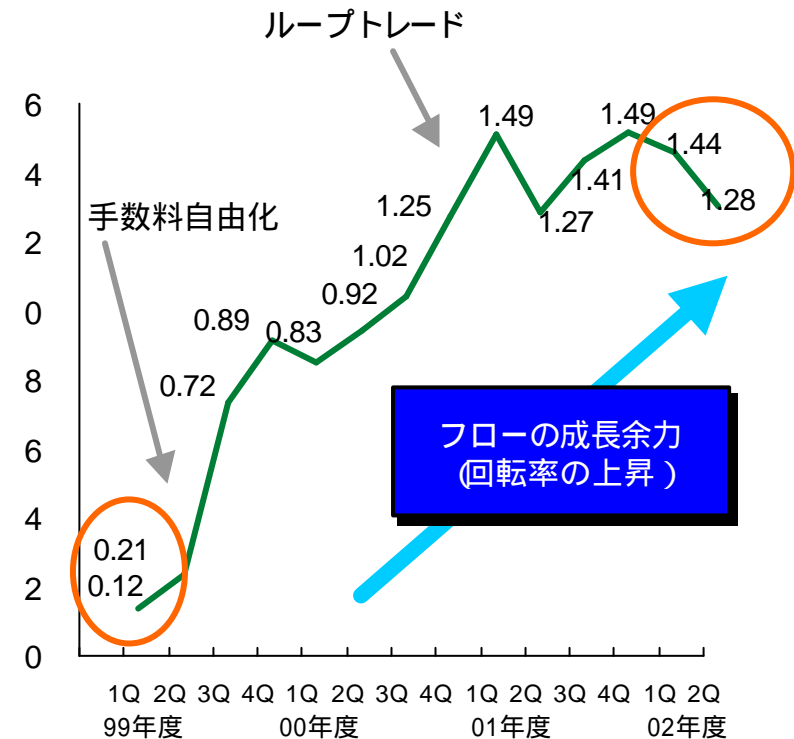
～ 「低手数料」・「売買機能の充実」により、オンライン取引の回転率は上昇する傾向 (フローの成長余力)～

### 個人株式保有額<sup>1</sup>に占めるシェア (02年6月末)

日本の個人株式保有額 : 約64兆円



### 松井証券顧客の月間売買回転率<sup>2</sup>の推移



出典：東証統計資料、「日銀 資金循環統計」、各社決算短信、各社決算発表資料、各社ホームページより算出

注1：松井・DLJ・イトレドは預かり資産合計額、野村・日興・大和は個人株式預かり資産額

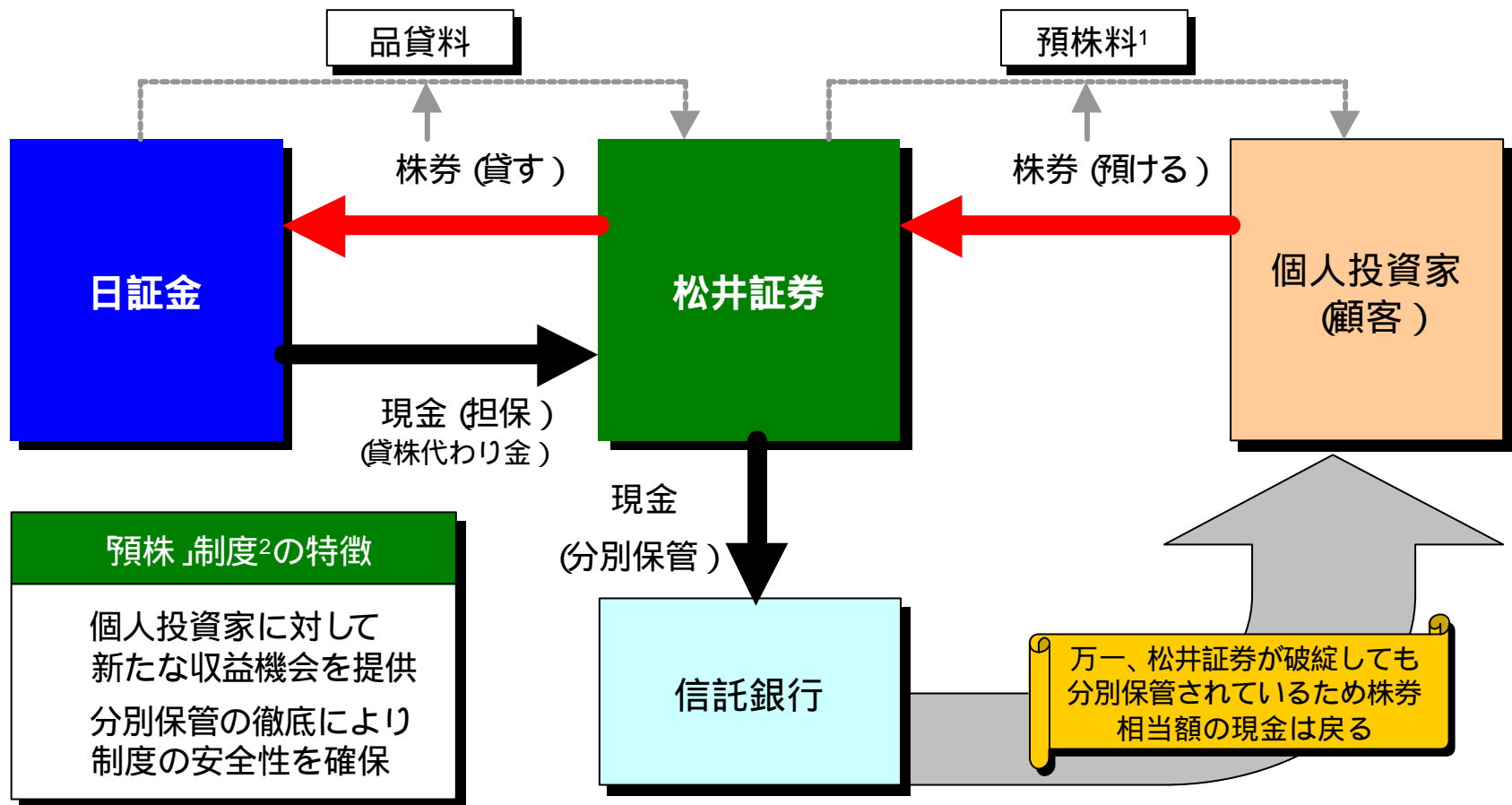
注2：売買回転率 = 月間の平均売買代金 / 該当期間の平均預り資産 (※1)

(※1) 01年度2Qの預り資産から、当社役員およびその関係者の預り資産額を控除

# ファイナンス業務の展開：預株」制度の開始

個人投資家の新しい資産運用手段として、預株」制度を開始 (02年9月)

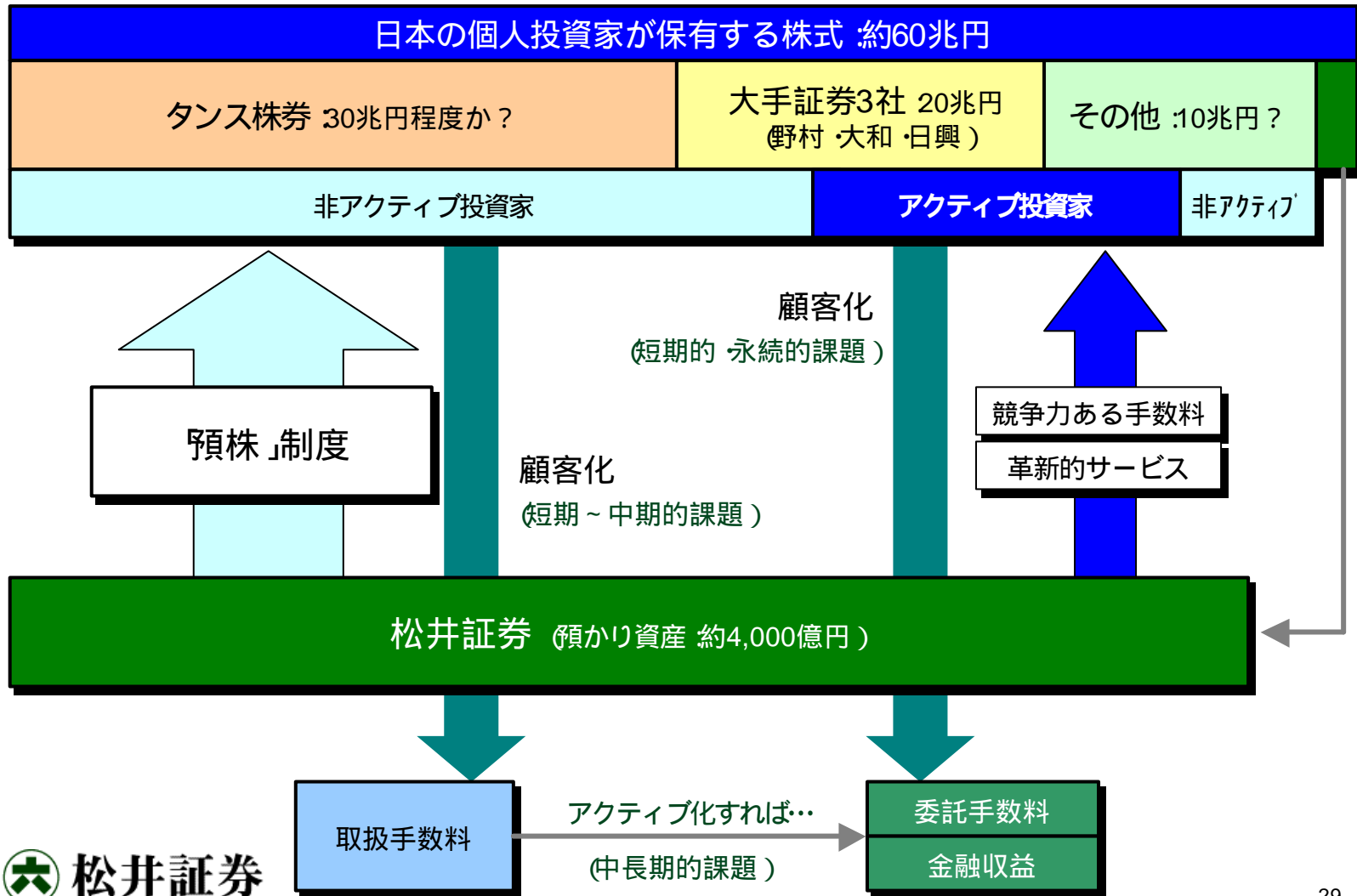
～ タンス株券 塩漬け株券 長期保有目的株券の在庫により 預かり資産 取扱手数料の増加を図る～



# 預株」制度の狙い

非アクティブ層を主要ターゲットとし、顧客基盤の強化・収益の多様化を図る

～収益への貢献は中長期的課題だが、将来に渡り安定的かつ持続的な効果をもたらすと想定～



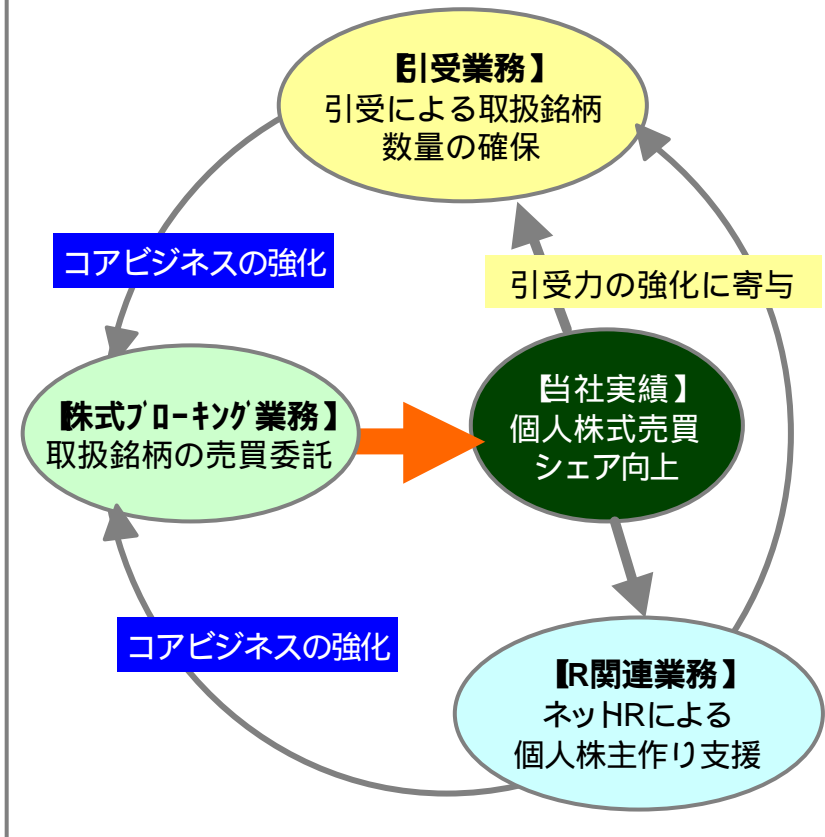
# 引受業務の展開

引受件数8件 (引受額2.4億円) 委託販売件数19件 (取扱額9.5億円) (02年度上期)

～個人株式市場における当社の売買実績 (プラットフォーム) を活用した引受業務を展開～

今後、他証券との提携により、他証券のノウハウ・ネットワークを活用した新たな引受業務も展開

## コア業務と引受業務とのシナジー効果



## 引受・委託販売実績 (02年度上期)

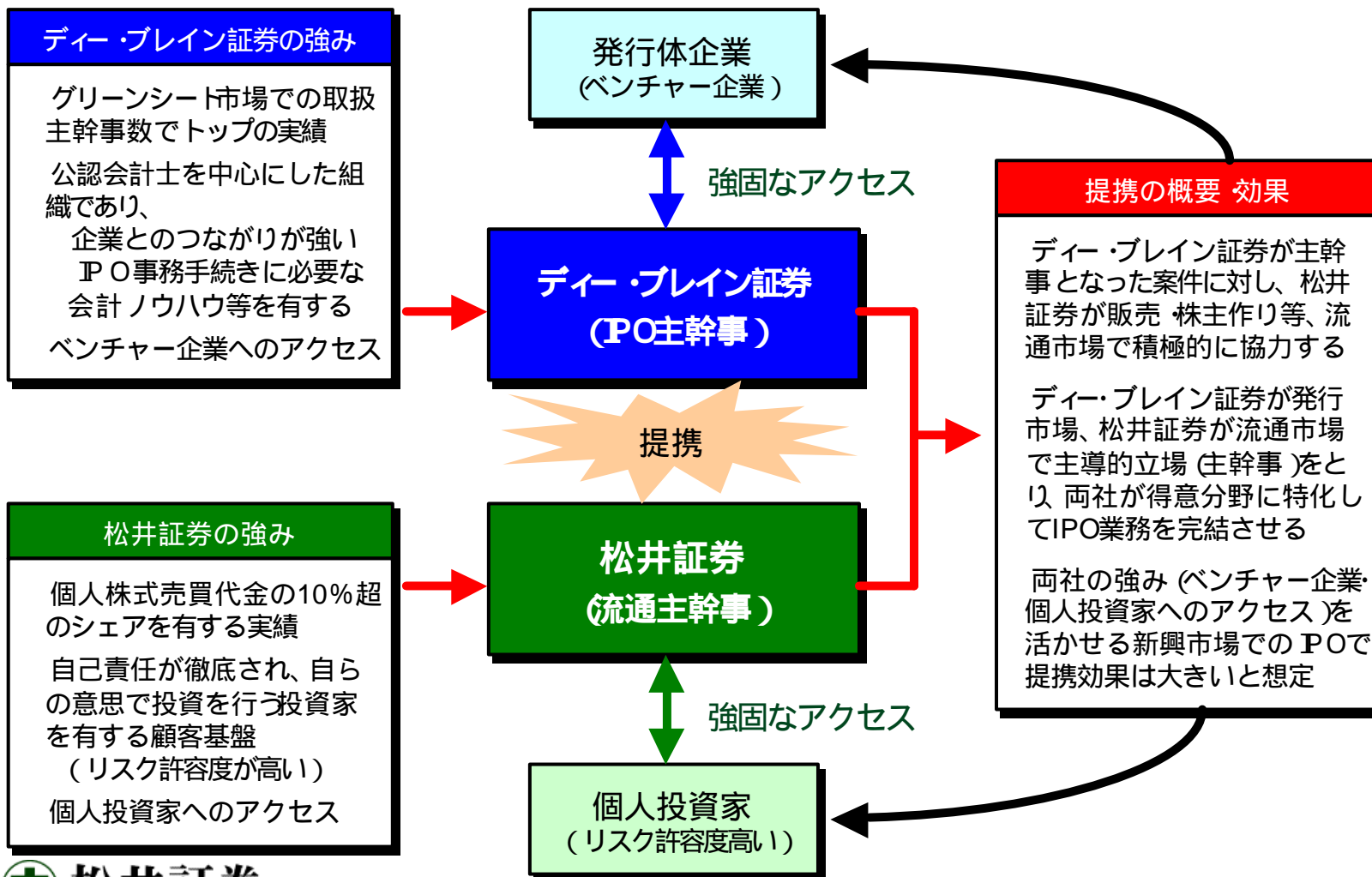
引受	(件数)	(金額)
第1Q	3件	183百万円
第2Q	5件	53百万円
<b>TOTAL</b>	<b>8件</b>	<b>237百万円</b>

委託販売	(件数)	(金額)
第1Q	9件	907百万円
第2Q	10件	41百万円
<b>TOTAL</b>	<b>19件</b>	<b>949百万円</b>

# ディー・ブレイン証券との引受業務での包括提携

## ディー・ブレイン証券との提携により 新しいIPO引受スタイルを確立

～特に、両社の強みが活かせる新興市場向けIPOで提携の効果は大きいと想定～

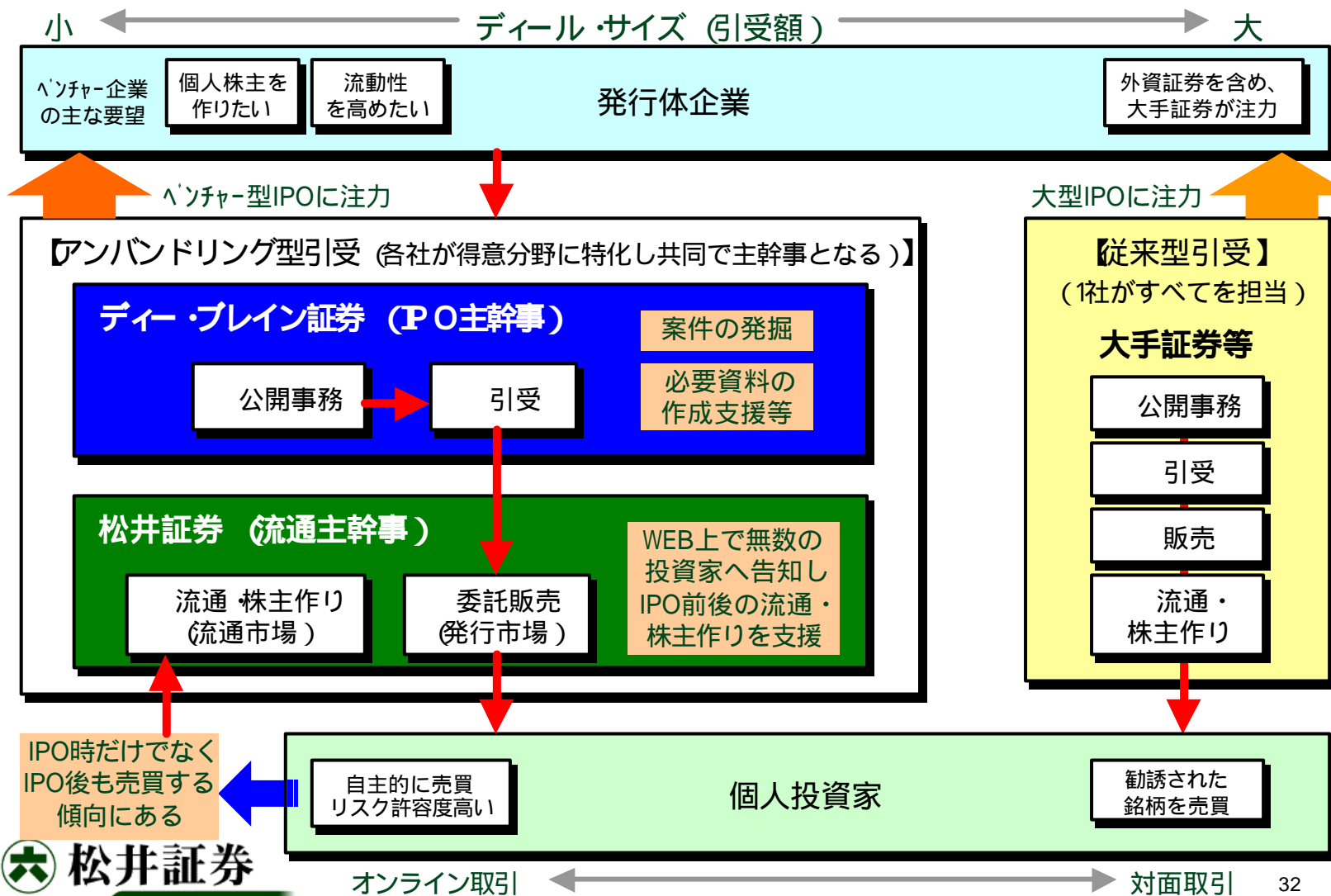




# ディー・ブレイン証券との包括提携の狙い

松井証券は「流通主幹事」として、IPO前後の流通・株主作り業務に特化

～ディー・ブレイン証券は「IPO主幹事」となり、両社で協力してIPO全業務を完結させる～



# 金融商品事業 (外国為替等) の展開

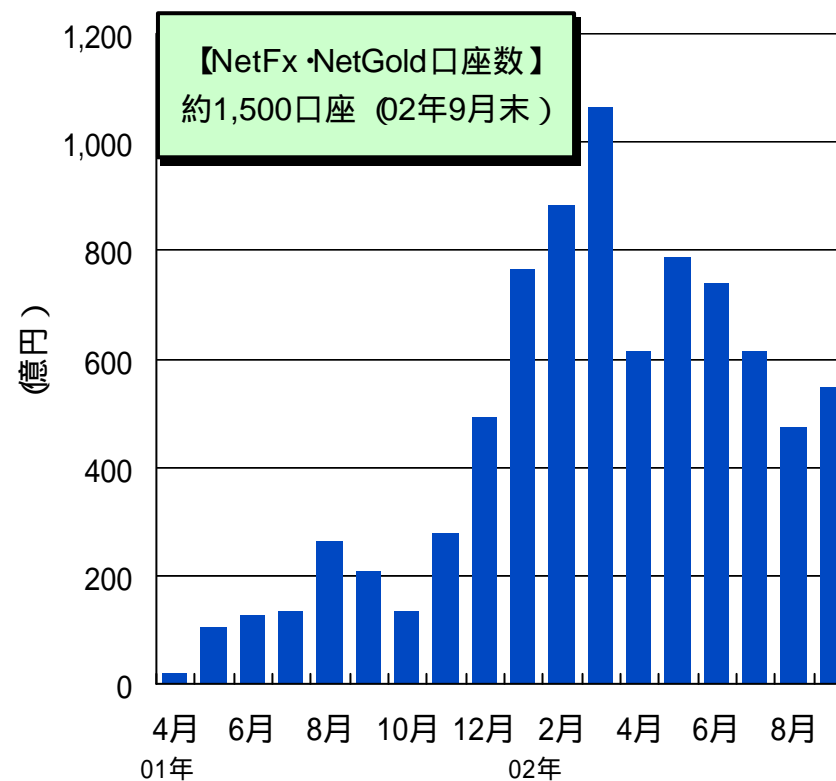
外国為替及び貴金属保証金取引売買代金は月間平均628億円 (02年度上期)

～02年4月から「ユーロ」豪ドル、6月から「通貨+1貴金属」の取扱いを開始しサービス拡充へ～

24時間取引できる外国為替及び貴金属  
保証金取引「NetFx・NetGold」の概要

手数料率	0.04%
最低保証金額	約45万円
レバレッジ効果	約4倍～約30倍
取引時間	24時間
取扱通貨・ 貴金属	米ドル・ユーロ 豪ドル・英ポンド スイスフラン・カナダドル NZドル・ゴールド

「NetFx・NetGold」の売買代金の推移



# 新サービスの一覧

## 本年5月の新システム導入以降、次々に新サービスをリリース

～新システムへの移行により、新サービスの開発・導入スピードが格段に上昇～

	サービス内容
4月	ネットストック口座基本料の無料化
	NetFxでの「ユーロ」「豪ドル」の取扱開始
5月	ネットストックリニューアル
	各種報告書の電子交付開始
	引受業務の開始
6月	増担保銘柄の取扱開始
	NetFxでの「カナダドル」「スイスフラン」等4通貨の取扱開始
	NetGold (貴金属保証金取引) の開始
7月	信用取引の委託保証金率 (31%へ)、最低維持率 (20%へ) の引下げ
	郵貯インターネットホームサービスからの即時振込入金サービス開始
8月	出金手数料の一部無料化
	松井証券WEBサイトリニューアル
9月	ジャパンネット銀行からの即時振込入金サービス開始
	「マーケット・ファイヤー」・「マーケット・ファイヤーX」の取扱開始
	預株制度の開始
10月	外貨建MMFの取扱開始
	未成年口座の受付開始 (予定)
	カバードワラント「eワラント」の取扱開始 (予定)

新システム  
へ移行

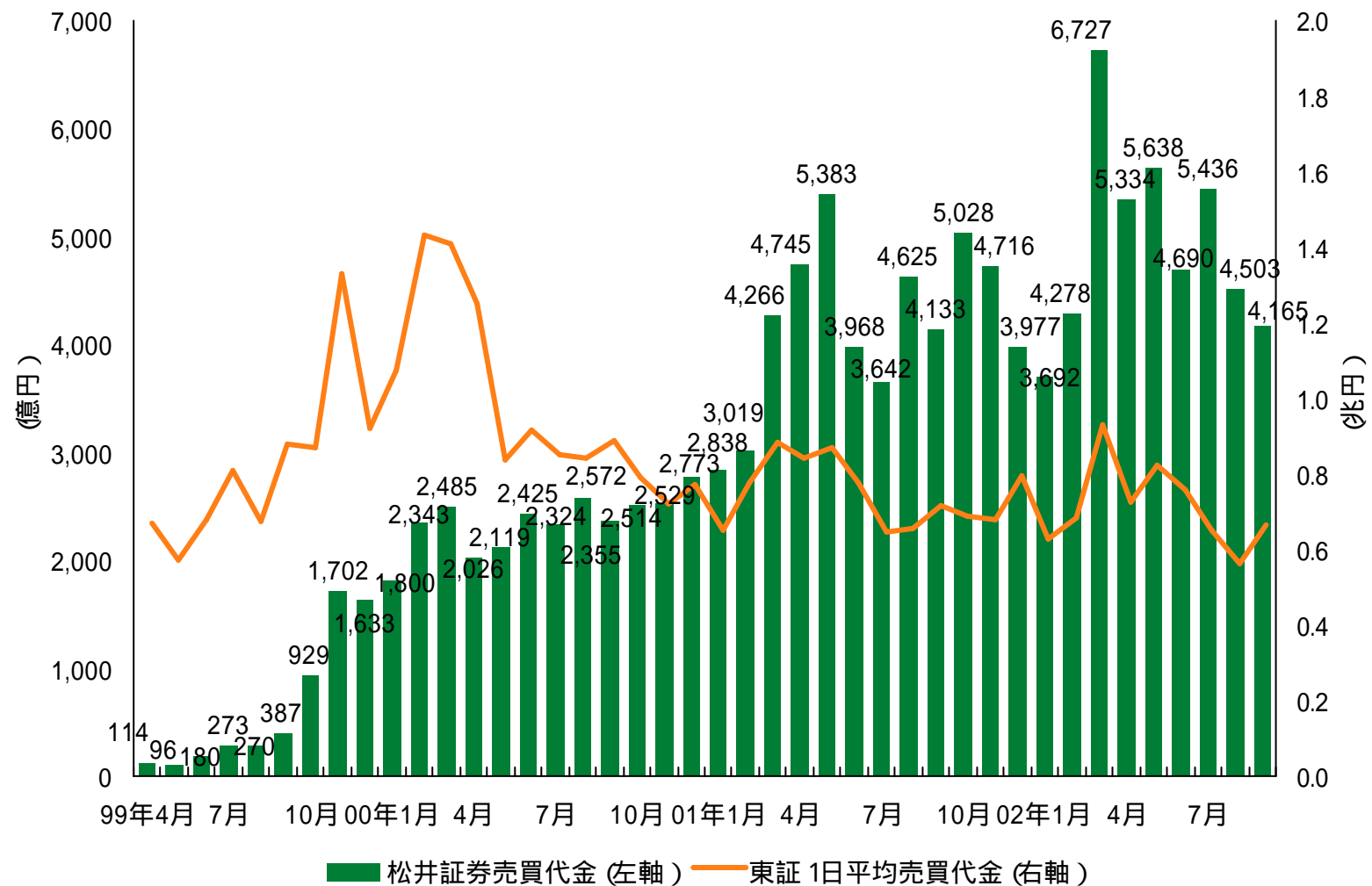
# 各種データ

---

セクション 4

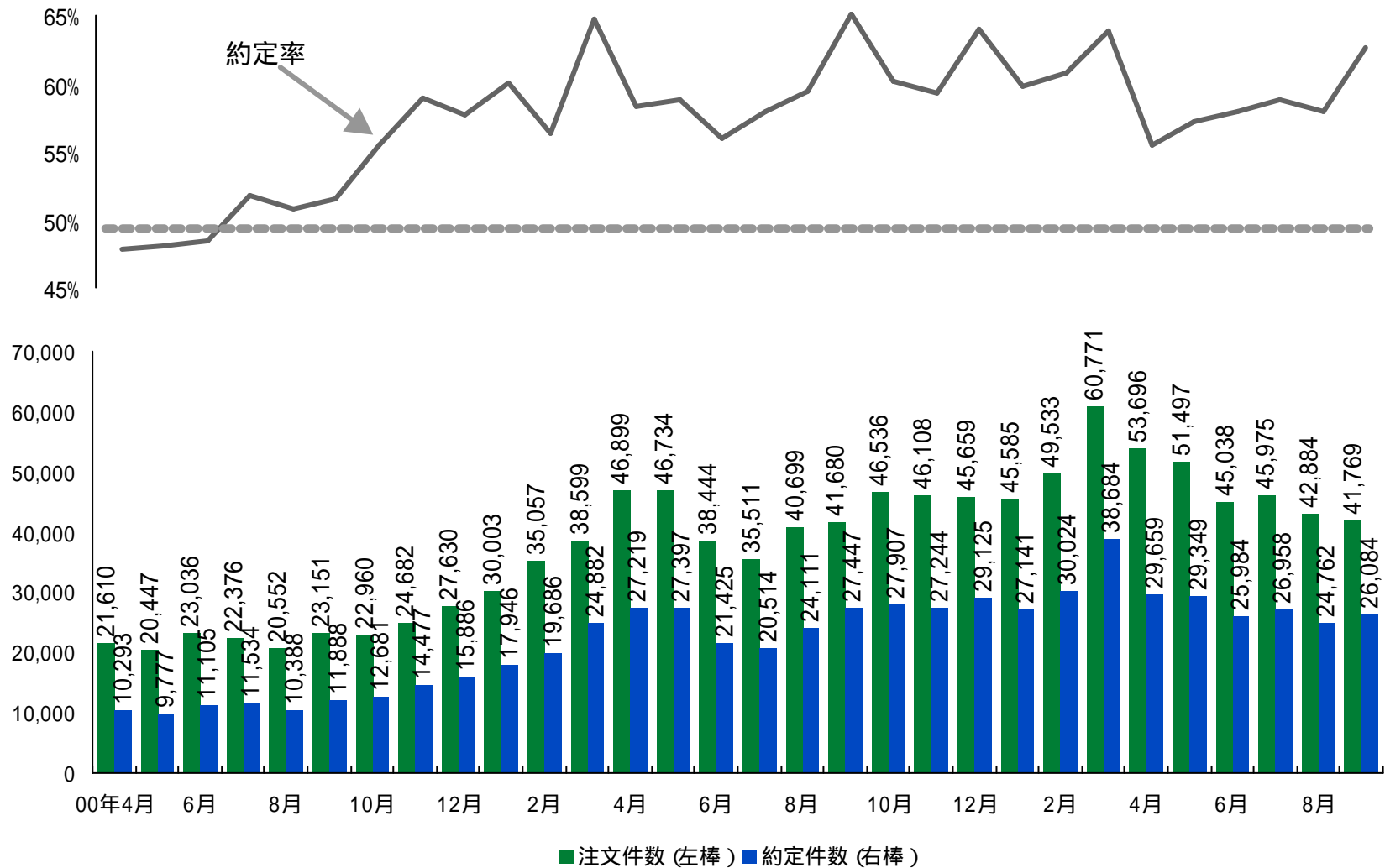
# 売買代金の推移

## ネットストック売買代金 (月間)



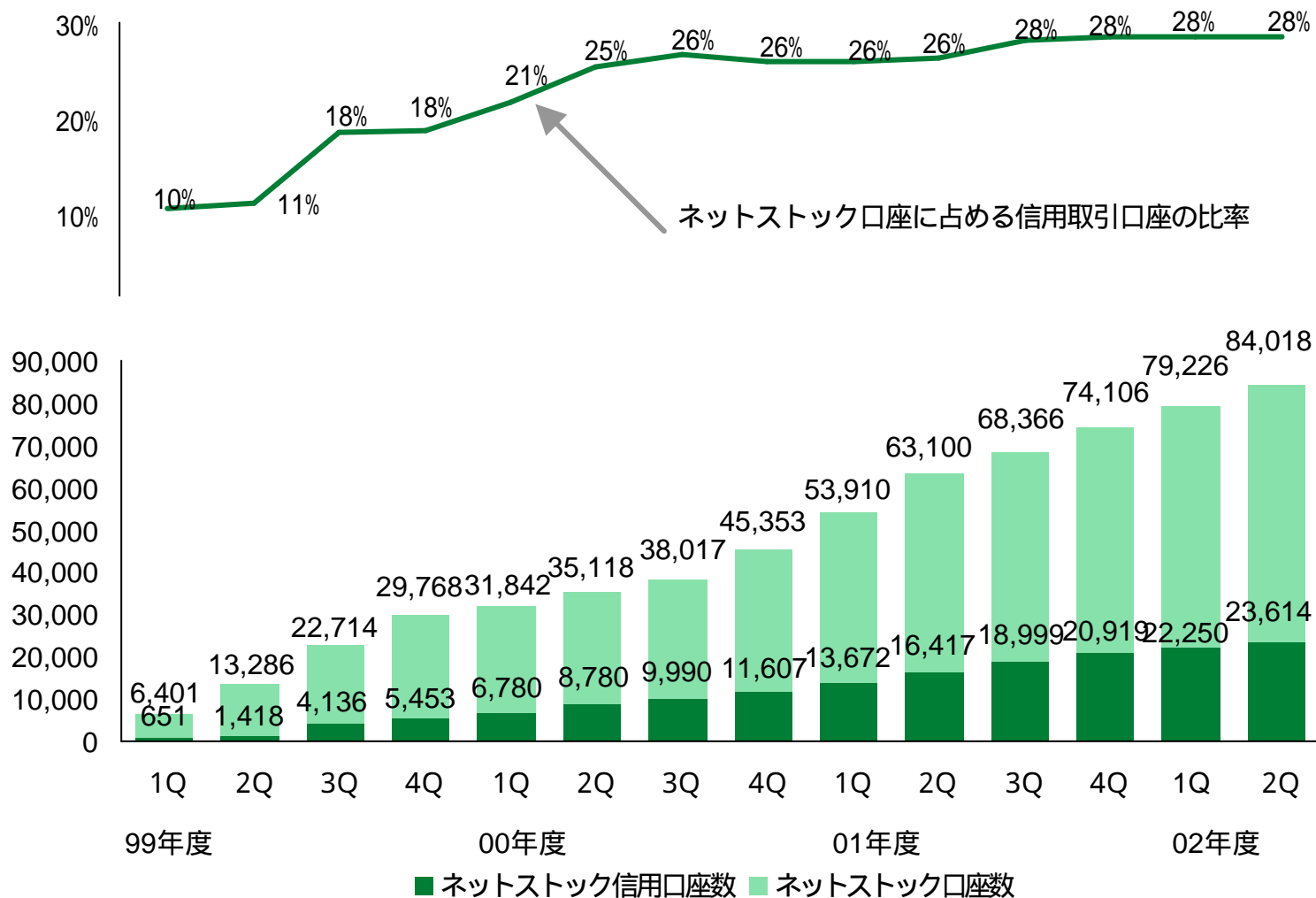
# 注文件数・約定件数の推移

## 注文件数 約定件数 (1日平均)



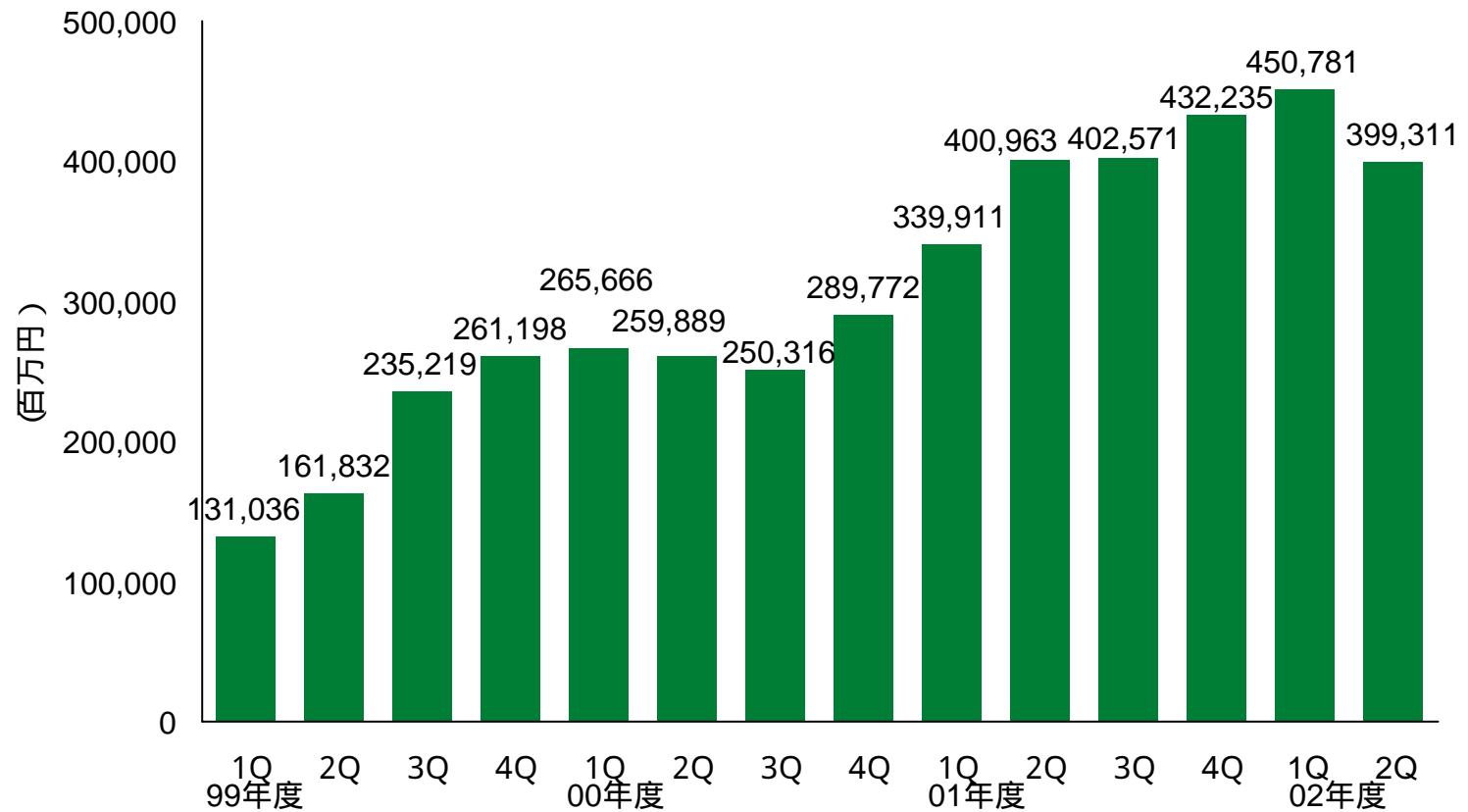
# ネットストック口座数の推移

## ネットストック口座数 (四半期)



# 預かり資産の推移

## 預かり資産残高 (四半期)

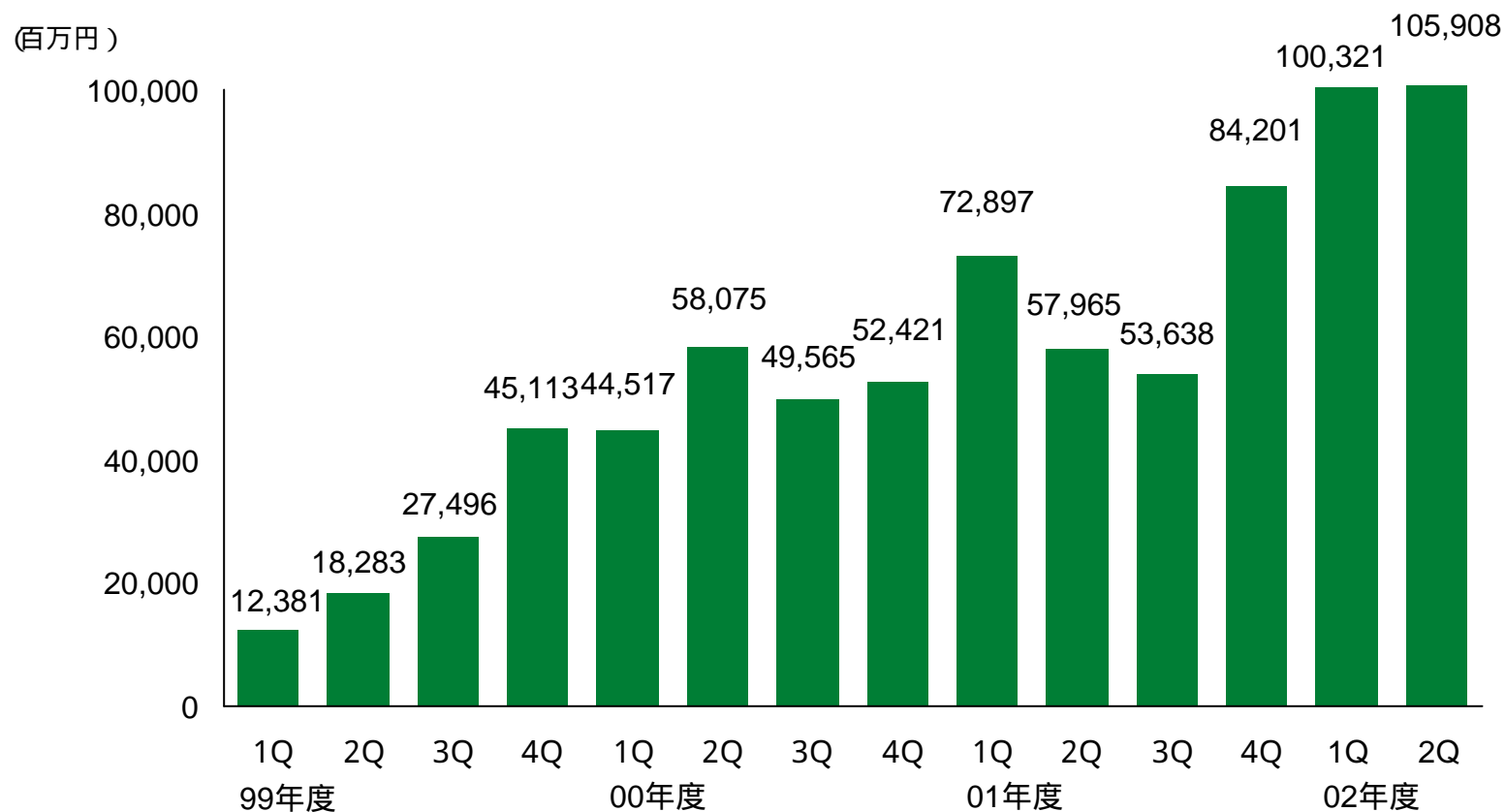


注: 預かり資産残高は各四半期末の数値



# 信用取引貸付金の推移

## 信用取引貸付金 (四半期)



注: 信用取引貸付金残高は各四半期末の数値



 **松井証券**

**ネットストック**

東証1部：8628

<http://www.matsui.co.jp>